

# 外部人材を巻き込んだ知財管理・活用体制の強化を図る！

会社名 株式会社エムビーエス  
 所在地 山口県宇部市西岐波1173-162  
 従業員 93名(2024年度)  
 資本金 3億9,000万円  
 売上高 44億円(2024年度) 業 種 住宅及び諸建造物内外装リフォーム工事全般、機能性塗料の開発及び販売ほか



## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 自社独自のスケルトン防災コーティング施工について、保有技術や知財の点検、知財戦略のブラッシュアップ、営業秘密管理などの組織ケイパビリティを一層強化することで、技術競争力やブランド力を更に高め、事業の成長につなげたいと考えている。

## 支援を受けてできるようになったこと

After

- 価値商流分析によって現状のビジネスモデルや取引先との関係を見える化し、顧客に届ける提供価値と顧客から頂く評価を再発見するとともに、将来のあるべき姿・理想像に向かって企業価値を最大化するブランディング戦略の検討へと展開した。
- 外部専門家の効果的な活用方法を再認識し、適宜相談していく意識を高めた。

## 今後の事業展開の展望

Future

- 支援を通じ、自社の強みの見える化ができ、かつ、それらを社内で共有できたことで、従業員のモチベーション向上につながっている(売上げは堅調に拡大中)。
- 知的財産が事業成長の武器になることを強く認識し施策に取り組むことを再確認できており、意識の変化が行動の変化につながっていることも確認でき、一層の社内浸透を図っていく。

## 加速的支援を受けた事業や商材



独自の技術である「ホームメイキャップ工法」と「スケルトン工法」を全国へ広めることで「列島リフォーム」の実現したいと考えてきた。特に、優れた防災機能を有する当社独自のスケルトン防災コーティング施工により社会問題化しつつある道路や橋、トンネルなどの老朽インフラの再生に貢献し、「インフラリフォーム」のトップブランドを目指している。

【出典】株式会社エムビーエスホームページ  
<https://www.skeleton.jpn.com/>

※2015年8月東証「マザーズ」に上場(その後東証グロースに移行)



## 加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
自社の競争力および事業戦略の点検	市場や競合の動向、他社技術の評価、自社の競争力の再確認が必要。 スケルトン防災コーティング施工の今後の技術強化の方向や認知度向上、プロモーション等を含めたインフラ分野でのビジネスモデル、事業戦略の点検が必要。
保有知財権の棚卸し、知財戦略の検討	競合の参入を防ぎ、競争優位性を維持、拡大するための知財戦略のブラッシュアップが必要。そのための知的財産の点検や効果的な活用方法の検討を掘り下げていくことが必要。
契約に関するケイパビリティの強化	社外パートナーとの協働における知財権の取扱いなど、契約に関する組織対応力の強化が必要。
知財管理体制の整備	知財経営に対する理解の深化、人材育成を含めた推進体制の検討が必要。また、知財管理体制の強化(営業秘密管理や職務発明規程等)が必要。

## 加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
老朽インフラ補修市場における自社の競争力及び事業戦略の点検	<ul style="list-style-type: none"><li>分析ツールを用いた現状分析などにより、自社の強みや競争力が一層明確になった。また、商流に対する整理は今後の営業方針にも反映させることができた。</li><li>ブランディングについて現状の媒体活用の改善点を整理でき、自社Webサイトの見直しなど、その実践に着手している。</li></ul>	知財経営専門家 中小企業診断士 ブランド専門家
知財戦略の再構築	<ul style="list-style-type: none"><li>保有知財権(開発技術、ノウハウ、営業秘密等)の点検を行い、競合の参入を防ぎ、競争優位性を維持、拡大するための知財戦略のブラッシュアップを実施。</li><li>弁理士との協働の在り方についても理解を深めた。</li></ul>	知財経営専門家 中小企業診断士
契約行為の考え方のブラッシュアップ	<ul style="list-style-type: none"><li>顧問弁護士を利用しているが、個々の取引に対する契約の重要性を再認識でき、適切な対応を初動から実施できるようになった。</li></ul>	知財経営専門家 弁護士
社内知財管理体制を にう人材の育成	<ul style="list-style-type: none"><li>知財勉強会を独自に実施し、社内意識の醸成を図った。これにより、自主的な知財管理の手法を理解し行動できる従業員を育成することにつながった。</li><li>営業秘密管理の仕組みづくりに着手し、人材の採用や退職時の対応が明確になった。</li></ul>	知財経営専門家 弁護士

## 支援チーム紹介

主担当専門家: 知財経営専門家・一級建築士 金田 和浩  
活用専門家: 中小企業診断士、弁護士(2名)、ブランド専門家  
知財総合支援窓口担当者: 山口県知財総合支援窓口 小柳 正  
PO(プログラムオフィサー): 喜多 克己